

No. 3003

2021-2022年度

会 長 松村 秀一
幹 事 川口健太郎
R広報委員長 児嶋 正人



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和4年5月12日 第3004回

- ・次期会長のための時間
井上修平 会長エレクト
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和4年5月19日 第3005回

- ・クラブ協議会
(次年度への申し送り)
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第3003回例会）

開催日 令和4年4月28日(木)

点 鐘 [松村君]

ゲストの紹介 [丸山親睦活動委員長]

会員配偶者：中村有香さん、中元礼子さん、
上野山りかさん

ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君：3000回例会達成記念例会にご家族様、会員の皆様ご出席ありがとうございます。例会運営委員会様、親睦活動委員会様、記念例会の準備ありがとうございました。ミニ卓話楽しみにしています。

川口君：3000回例会達成、おめでとうございます。諸先輩方のおかげで迎えられた事と感謝申し上げます。

成川(守)君：3000回例会おめでとうございます。本日、卓話させていただきます。

成川(守)君：3000回例会達成記念例会で表彰状をいただきました。ありがとうございます。

[成川(守)君から、例会翌日、追加のニコニコ箱の報告をいただきました]

石垣(洋)君：3000回例会おめでとうございます。長い間欠席して申し訳ございません。

岩橋君：例会3000回達成、おめでとうございます。

上野山(捷)君：3000回例会達成、おめでとうございます。ますますのご発展をお祈りします。

橋爪(正)君：3000回達成記念例会を共に祝いましょう。

中村君：3000

例会万歳！これからも宜しくお願い致します。

宮井君：有田RC3000回例会達成記念例会、おめでとうございます。

岩本君：例会3000回おめでとう。歴史の重みを感じます

ね。

成川(雅)君：3000回例会おめでとうございます。

上野山(栄)君：㊦3000回例会！これからも頑張りましょう！！

中元君：3000回例会おめでとうございます。本日の細則変更の件、よろしくお願いいたします。

橋爪(誠)君：チャーターメンバーから紡いできた有田RCの歴代の会員皆様に敬意を表すると共に感謝いたします。3000回例会達成おめでとうございます。

井上君：3000回記念例会おめでとうございます。末永く続きますように。

木本君：本日の達成記念例会、宜しくお願い致します。岩橋さん、石垣さん、成川さん、「有田ロータリークラブへの想い」宜しくお願いします。

丸山君：3000回例会達成記念例会楽しみです。

辻君：本日3000回例会達成記念例会おめでとうございます。今後よろしくお願いいたします。

脇村君：3000回例会おめでとうございます。次は5000回例会を目指して盛り上げて行きましょう！！

出席報告 [木本例会運営委員長]

本日の会員数27名

(出席規定免除会員8名)

出席会員数24名

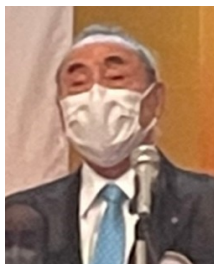
(出席規定免除会員8名)

会長の時間 [松村会長]

「63年間で3000回の例会」

有田ロータリークラブは1959年に誕生しました。私が3歳の時です。63年という長い間毎年50回近い例会が開催されついに3000回以上の例会を重ねてロータリークラブの

活動が受け継がれてきました。
チャーターメンバーの写真とお名前、事業所名を拝見しますと何人かの方は私も知っている人のお父様だと想像されます。中でも歯科医の成川誠義様は成川雅史会員のお父様のようです。なにしろお顔がそっくりですから。



パストガバナーで会長職を2回やり遂げられました会員もおられます。また、有田ロータリークラブは他のクラブが例会を取りやめている時もハイブリッド形式で例会を続けてきました。2640地区でそんなクラブは他にないと思います。橋爪誠治さんはじめ会員の皆様のおかげです。後程、大先輩のお話しが聞けますので今日はこれで会長の間を終わります。

〈お詫びと訂正〉

4月28日会長の時間に私が「成川守彦会員が幹事をしていない」と成川守彦会員様のロータリー歴について事実と異なる発言をしてしまいました。申し訳ございませんでした。お詫び申し上げます。成川守彦会員は1988-1989年橋爪隆会長年度に幹事をされました。

定款細則変更(案)審議

定款細則変更結果報告

2022年4月28日(木)第3003回例会(3000回例会達成記念例会)において、松村会長より定款細則変更(案)の動議がなされました。

採決結果—当日例会場出席者20名 全会一致承認となりました。

(定款細則 第15条 改正 出席会員3分の2の賛成によって改正できる。)

これにより次年度組織体制へと反映されます。

なお経緯については以下の通りです。

第10回定例理事会において定款細則変更(案)が上程され承認。

定款細則 第15条 改正 に基づき、2022年4月28日(3003回例会)へ上程を行うため10日前までに予告とともに全会員へ資料の郵送を行いました。

2021-2022年度 有田ロータリークラブ
会長 松村 秀一

幹事報告 [川口幹事]

本日の幹事報告3件ございます。

- ・翌週5月12日第11回定例理事会を開催致します。
- ・5月よりクールビズが始まります。
- ・2022-2023年度ロータリー財団地区補助金申請の案内。

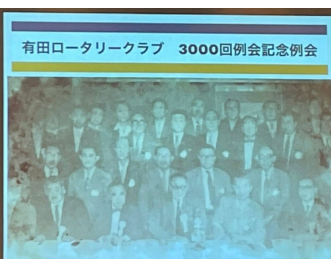
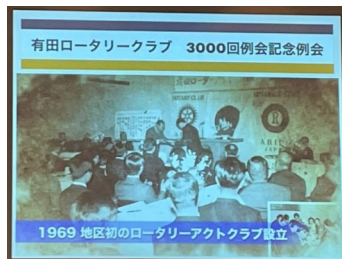
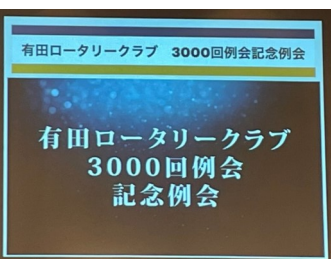
委員会報告

※井上会長エレクト
次年度組織図について

3000回達成記念例会

オープニングムービー

有田RCの
設立から現在まで



ガバナーメッセージ



国際ロータリー
2640地区
豊岡敬ガバナー
よりお祝いのメッセージをいただきました

表彰状贈呈



成川守彦君
2度の会長職を全うされクラブに発展に寄与しました



橋爪誠治君
例会のデジタル化に多大なる貢献をされました



有田ロータリークラブへの想い



会員
岩橋 行伸 君
1979年1月6日入会

「ロータリーいろいろ」

有田RCでの昔話をお話させていただきます。

私は40歳の時、ロータリーに入会しました。

50歳で幹事、60歳で40周年会長と、自分の人生の節目節目で役が廻ってきました。

ロータリーで思い出す事は、まず、入会した当時経験した週報委員会が大変だったということです。会長の話、卓話など、全て録音し、原稿にし、例会の翌日に提出するよう教えられました。また、大先輩の方の卓話を省略して週報に載せ、お叱りを受けたこともありました。

そして、社会奉仕委員会では、心身障害者の方々とその御父兄を招待して、元の有田市民会館でお楽しみ会を開催しました。手品、アコーディオン演奏、そして、みんなで歌を歌いました。御父兄の方々は涙を流して喜んでくれました。私たちも一緒に涙を流しました。

今、有田市の大きなイベントとなっています有田川クリーン作戦はロータリー40年の年度に始めた事業です。計画し、実行するまでは大変でした。各種団体に協力をお願いしまわっても、話は聞いてくれますが、協力はしていただけませんでした。市役所だけは協力してくれまして、実行することが出来ました。粗大ごみの山、山。

特に心に残っている事としては、やはり、会長をさせていただいた時の40周年記念式典です。

式典には会員始め、御婦人の方々のご協力で式典を盛り上げていただきました。改めて御礼申し上げます。

また、成川先生がガバナー・ミニの年だったので、私も地区大会や地区の行事には出席して有田クラブのPR等、地区大会への出席をお願いしに行きました。

大阪難波にあったホテルで、当時の名前は南海サウスタワーホテル。そこで、地区大会が行われた時、大会場の舞台で有田クラブのPRをしました。大きな幕を4人で持ってもらい、PRは10分で終わるようにとのことでした。10分を過ぎ、話を終えようとした時、地区の担当者に「来賓の到着が遅れているので、合図するまで話を続けて下さい。」と言われ、頭が真っ白になった事を覚えています。



会員
石垣 洋介 君
1978年4月27日入会

皆様、こんばんは。この度、記念すべき3000回例会達成、誠にありがとうございます。

思い起こせば、私がRCへ入会させてもらったのは昭和53年4月27日で40歳でした。青年会議所を卒業後、すぐでした。

入会して最初の委員会は週報担当だったと思います。その当時は、週報を印刷してくれる印刷屋さんが和歌山市しかありませんでした。木曜日の例会が終了するとすぐ自宅に帰り、ラジオのテープおこしをして、100字以内にまとめてそれを和歌山市内の印刷屋さんへ金曜中に持って行き、翌週の木曜日までに仕上げていただくという大変な作業でした。また、その頃は卓話者の原稿もなく、私が適当にまとめていました。ある時、卓話者の言いたい所と私のまとめた原稿の主旨が違くと、先輩卓話者にきつく叱られ、その後、別の先輩会員さんをお願いしてあやまりについていってもらったという事もありました。

昭和57年にはローターアクト委員長をおおせつかり、その年に、ローターアクトの地区大会のホストクラブを担当させていただきました。その時のローターアクト地区代表と実行委員長丸山氏、そして35名の会員が昼夜を問わず催し物の選定や講師先生へのお願いや会場場所等について、大変忙しかったが、素晴らしい成功で終了出来た事はいまだに忘れません。

デレーノRCとの短期青少年交換プログラムでは、1982年にショーナ・ナガタニとローラ・タケモト、1986年にデビット・リッチーとギルバート・レンテリア、1992年にショーナ・ナガタニとキリィ・ナガタニ、1996年にエリック・メイナーとサラ・メイナーの8名の受け入れを行いました。また、地区青少年交換プログラム(長期)では、1997～88年にエリーズ・クヌードソン、1991～92年にタッド・カリートの2名の受け入れも行いました。

現代はコロナ禍やウクライナ戦争など、例会運営が大変難しいと思いますが、新しい発想で頑張ってください。



会員
成川 守彦 君
1978年4月27日入会

「有田RCに対する想い」

有田RCに対する想いと言えば、唯々感謝しかありません。有田RCに入会以来44年間、お世話になった多くの会員の皆様に感謝申し上げます。

今日は、私のロータリー歴、ロータリーにおける私の歩みについて、紹介させていただきます。

私が有田RCに入会したのは、1978年4月27日でした。今から44年前です。石垣洋介君、きのくに信金の柿木支店長と一緒に。当時、私は36歳でした。紹介者は、成川誠義先生(成川雅史君の父君)と中村淳一先生(中村吉伸君の父君)でした。

そして、1988－89年度橋爪隆会長(正芳君の父君)の時**クラブ幹事**、1997-98年度**クラブ会長**、そして、1999年-2000年度**地区ガバナー**に推薦されました。当時、有田RCには重鎮の平松龍雄様や中村淳一先生(中村吉伸君の父君)などガバナーにふさわしい方がおられましたが、平松様は高齢ということで辞退され、又中村先生は心筋梗塞をされたので激務は難しいということで、私が推薦されました。56歳でした。

ガバナーエレクトの時は、シカゴでの国際協議会での研修、RI本部の訪問、**ガバナー**では、地区内クラブの公式訪問、インドムンバイへのポリオ斉投与参加、ネパールのカトマンズの岩村記念病院の建築支援、日本各地区大会への参加(34地区のうち私は18地区、家内は4地区、計22地区)等々、本当にロータリーをエンジョイさせていただきました。

その後は、お手元の資料のように、
 日韓親善会議 委員
 RI人口および開発問題研究グループ第3ゾーンコーディネーター
 RI飢餓タスクフォース第3ゾーンコーディネーター
 ロータリー日韓・韓日親善委員会 委員
 RI保健問題タスクフォース第3ゾーンコーディネーター
 RI水保全支援グループ第3ゾーンコーディネーター
 2005年、2006年 RI研修リーダー
 Malmo-Copenhagen Convention Discussion Group Facilitators
 RI水保全支援グループ第3ゾーンコーディネーター
 2007年4月8～9日 RI会長代理(2700地区福岡)
 2007年4月20～21日 RI会長代理(3700地区韓国)
 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 評議員(2016/17-23/24)
 公益財団法人米山梅吉記念館 理事(2017-22年度)
 2017-18年度 有田ロータリークラブ 会長(2回目)
 2018-19年度 RI2640地区研修リーダー
 等を務めさせていただきました。

私がロータリーに入会して経験した「感動」を三つ紹介させてます。

①1979年(入会翌年)、まだ和歌山の山奥の子供達は、海水浴に行くことは稀でした。その数年前より有田RCは毎年山奥の子供達を海に招待し、海水浴を共に楽しんでいました。このプロジェクトが始まった頃は、「**海を見たことがない**」という山奥の子供たちが居ました。

私はこのプロジェクトに参加し、子供達の喜ぶ顔を見て、自分も楽しく、「**医療以外でも、このように人のお役に立つことが出来るのだ!**」と感動しました。ロータリーに入ってよかったと思いました。

②次に、私のガバナー年度である2000年1月に、インドの**ポリオ斉投与**に参加しました。

当2640地区では初めて(日本で2番目)、中島PDGのお世話で、中島ご夫妻、亀岡直前ガバナーをはじめ、クラブ会長8名を含めロータリアン・ご家族・RAC会員総勢**73名**が自弁で、ムンバイのポリオ斉投与に参加

しました。

私のグループは、世界一のスラム街といわれる「Danahvi」の貧民街に行きました。その住まいは3～4畳ぐらいの掘立小屋で、居間兼食堂兼寝室兼洗濯場で?地べたに、家族が数人生活していました。勿論下水道や溝は無く、汚水は細い路地に垂れ流し。悪臭は勿論、衛生状況は非常に悪い状態でした。

或る参加者は、「**感銘を受けたのは、幼子を抱き、小さな子供の手を引いて立ち並ぶ母親の真剣な姿でした。幼子がつぶらな瞳で、少し不安げに、懸命に口をあける姿を見て、『この子にポリオになられてなるものか』という思いが心からわき上がりました。主役は、ポリオと戦う幼い子供達とその親御さん。微力ながらその支援に、今後とも参画する決意を全員で固めました。**」と報告されました。

我々73名は感動の体験をしました。

③又、1999-2000年度の2640地区WCSプロジェクトとして、ネパール;バクタプル市に「岩村記念病院建設」を、第2680地区との合同WCSプロジェクトを実施しました。

岩村昇博士は、ネパール(18年間)、バングラデッシュ・インドネシア及びフィリピン諸島(12年間)に対する医療並びに人道的奉仕、健康管理プログラム推進に大きな役割を果たした功績で、1981年サンパウロRI国際大会で**第一回ロータリー国際理解賞**を受賞されました。

私は、ロータリーに入った限りは、皆様、その素晴らしさをぜひ体験してほしいと思います。そのためには、じっとしていても、体験できません。「努力と参加」が必要です。ロータリーを理解する「努力」と参加して体験をして頂きたい。

いま ここ じぶん その合計が じぶんの一生(繰返す) 相田みつを

であります。自分が努力することが大切であると同時に、**多くのロータリープロジェクトに参加**することです。

いろんなロータリーの**奉仕プロジェクトに参加し体験**することにより、そこに**得るもの**があり、**感動するもの**があります。それを経験して、自分自身が変わります。自分自身が成長します。又多くの素晴らしい人と知り合いになります。

例えば、地区委員になると、より広い、より多くのプロジェクトに参加する機会が増え、更に多くの感動を得、多くの人々と知り合いになり、視野も広がります。

ガバナーになると、更により多くの、日本全国は及ばず、世界のプロジェクトに参加する機会が増え、より多くの人と知り合いになり、多くの素晴らしい感動を得ることが出来ます。世界は広いです。

皆様は、是非、そういう体験をしていただきたい。

さて、ポール・ハリスは、ロータリーの魅力について、次のように述べております。

ロータリーとは何か...という答えは 難しい。しかし、ロータリーが我々に何をしてくれたか ということを考えると、これは割合簡単である。

ある人は「もし、ロータリーのお陰で、私達が、人生とか人間に対して、暗い、意地悪いイメージを抱かず、温かいイメージを持つことができるようになったら、そして、もしもロータリーが、私達に、全てに対して広い心をもち、他人の長所を認めてやるような心を与えてくれたならば、また、もしもロータリーのお陰で、人生の喜びと美しさを自分でも取り入れ、他人にも施すというタイプの人達と、快いおつきあいができるようになったとしたら、これで我々がロータリーに期待していることの全てを、ロータリーは我々に与えてくれたことになる」

あるパストガバナーがこう申されました。

ロータリーの魅力とは、
知らず知らずのうちに他人に対する思いやりの心、助け合いの心を持ち、相手の喜びや悲しみのわかる人間に改良されていくことである

私は、**ロータリーの楽しみとは、**
1つは友達の輪が広がること、

2つは人様のお役に立つ喜び、
3つは自分の人間性の成長、
私はこの3つだと思います。

心をこめた奉仕は、たとえ小さくとも人様に幸せを与えるものであります。

「ロータリアン一人一人の奉仕で、どれだけ多くの人々が助けられ、生きる力を与えられたか」思い起こしてください。

末尾に再度申し上げますが、有田RCに対する想いと言えば、唯々**感謝**しかありません。歴代の多くの会員の皆様のおかげで、素晴らしいロータリー人生をエンジョイすることが出来ました。 **ありがとうございました。**

閉会・点鐘

〔松村会長〕



3000回例会達成記念例会 集合写真